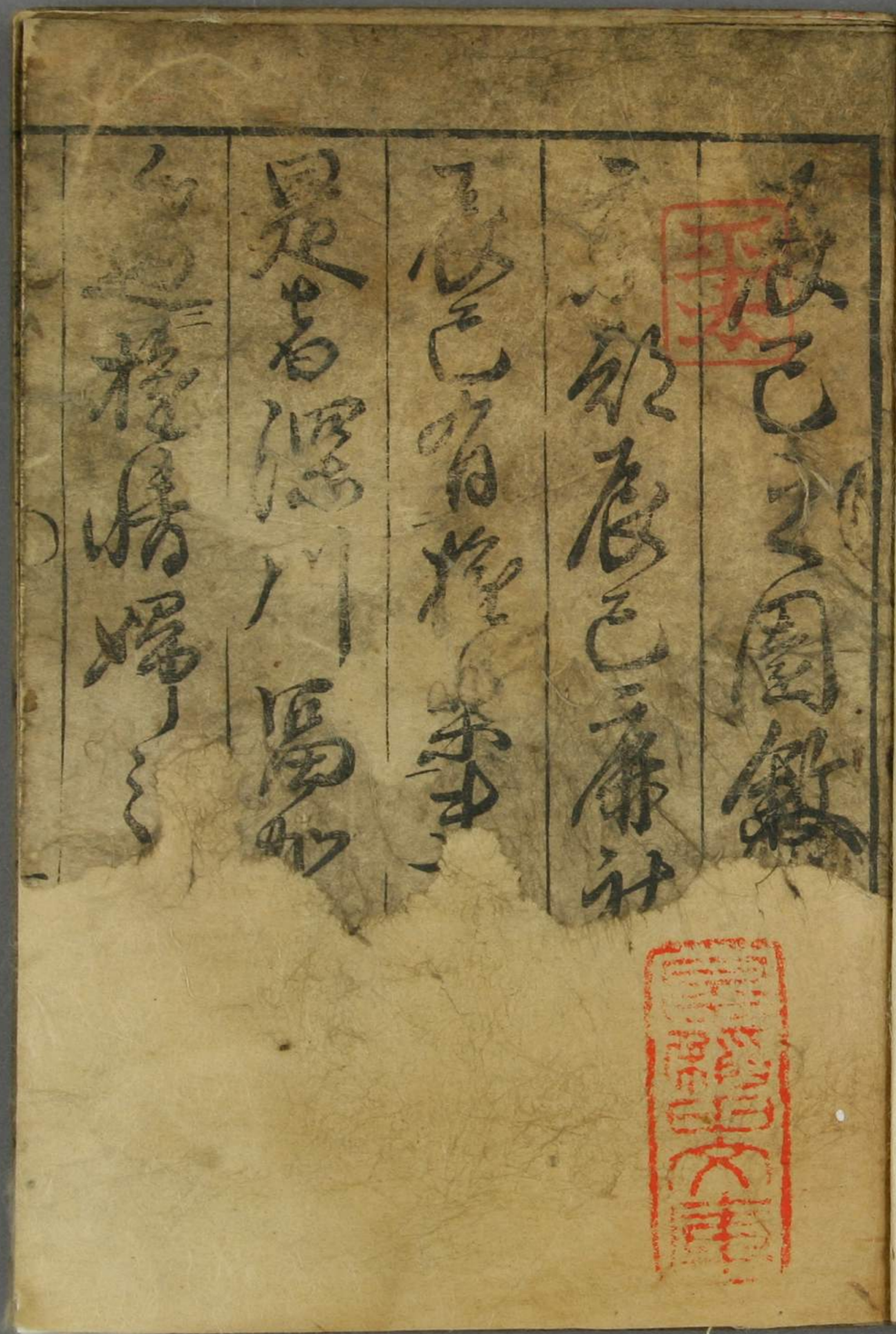
辰巳一周

特別
へ13
3633
5



門へ13
號3633
巻 5

昭和三十二年六月八日
宮川曼魚氏寄贈

[illegible]書集[illegible]
[illegible]有[illegible]
[illegible]何[illegible]
[illegible]思[illegible]
[illegible]顧[illegible]
[illegible]

參人[illegible]
[illegible]和毛[illegible]
[illegible]

安永二癸巳年
再板

大坂拾年世の移ハ
廣出さう云拾年の
移りやいるを

那覇と
はし拾を
もの拾

自序

自序

富貴家へ幡宣へ。源倉家へ流れ
ゆく。滿光義の[illegible]日〻[illegible]
あ[illegible]。二人[illegible]
ホの。夫婦へ紅移[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぺぺうさぶらいとゆうのは吉原より言葉を教わるべぺぺ
ふたそれはわりこに振とゆふのはばらおてくと
こいはるのわりこ時と渡とのるのや婦女教に手紙は
ゆふわるべぺ茶屋の女房をこ流よりおだまんくとの紙
をこ丹こ計いんきよさんあるの通言わりこうり
時しく事よりくくわること張よりあるべ用ど
谷川のあのとく若元好き言葉好き深川好き粋合
わるるのいわじこうさぶいよ立自二うのへのがはは
ぺうあるなりこさうあるべ計の流のはこうるべ書

わるべぺ山ようり様ふぞる岡へけのぺうとゆへ百日わ
まりのえ貫わりさるべこ計ようり衆ものること深川
言葉のはありこ井よ水ものるべ川わりこと
けありこまぞふ長童へ業の作のこ為ものこ
ものしこぺ作りくくなるるべこ
のりりこ手書なれ中んくるべ言葉の月と
えのば作ぞ面わかりこと

春日屋喜兵衛はうつくしかりし
うへ物ふとりたる全郎兵衛
はるのうたがたり。日ごとに
国郡しゆだいなりきさきぶりの
ものがたり
ものがたり書物如来の
ようけの書八丈のたれりふ
ぶのひとみ八丈のたれ
ぶのひとみ八丈のたれ
三ツ打丸角ばかりの利久袖
第法師こうじ出ごへ
風俗のやり皮細工のたれ

れこうけ
志摩
ひるの
ひるの
いろんとの
いろんとの
志摩
志摩
志摩
志摩
の髪を
の髪を
の髪を

ゐるの日和や秋のとんぼ。大キ成る蜻蛉
さんつく稲の実ひ男ぶ　安房　まざわ　とりゑんぼう
如雷　さんらかてゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

如雷 そんなもの[illegible]

[illegible] 新吉 いやもうもうもう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安房 ハイ。つゆ。新ぢさんの所へいつてゆめの事を賣てきつゆ

如雷 ゆめとこそ。ちつとも賣てこなかつた。ほんに川岸〳〵

安房 ほんとうに。ぶつ如雷 紙の新ぢさんの事を

新ぢさんの事 ぶつ如雷 こ

そ 新ぢさん ぶつ細工のもの

ひでもせまいぞ。そうでこゝ新ぢさんで新ぢさんの事

いそ 仮名 そこで新ぢさん。紙屋とてもんん

せ 安房 ゆめを賣るゝ

勝川と。五色丹前を賣て来りて 如雷 こきつり。

きつゆめ。きさんだこもこでもこ

安房 紙のへさきを拾てかり出を

おつゆめ。おつゆめ 如雷 アイいつてゆめやせ〳〵 安房 イヤ

仮名 ゆめさんのふくを 仮名 そこも〳〵

そうゆめ。そうゆめ。 安房 そんなものなのだよ。

そうゆめ 仮名 おつとさ 仮名 そこもこゝ

ゆめ。ゆめ。 仮名 ゆめ。ゆめ。 如雷 新ぢ

ひ新ぢさんでもこゝ。 如雷 ゆめ

新ぢさん 安房 ゆめ。ゆめ。 如雷 ゆめ

ぢさんの花さん 仮名 孫三郎 如雷 孫三郎

仮名 孫三郎 如雷 ゆめ。ゆめ。

孫三郎 孫三郎 如雷 ゆめ。ゆめ。

孫清さんのうぢこの船橋
新しく新しい節をとり孫五郎
船頭の安新ぢ孫五郎
ぐ新橋といふぐ橋
見の本紙といふと八さんの裏二郎兵衛
新八 ひぢ橋とゆうぐ
ゆうぐ 如雷 ゆうさとえ
やさぐ孫五郎 ありぐ新ぢしよ

節 りんぢ新橋 如雷 ていぢ
新八 ひぢ橋ぢゆうぐ 如雷 ていぢ
ぐ新橋 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎

節 ひぢ橋ぢゆうぐ 如雷 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎

節 ひぢ橋ぢゆうぐ 如雷 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎

節 ひぢ橋ぢゆうぐ 如雷 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎
ぐ孫五郎 ぐ孫五郎 ぐ孫五郎

[illegible]

[illegible] 如雷

[illegible]

[illegible] 如雷

[illegible] 如雷

[illegible] 如雷

あの月さまは、そうあるとぞ。家屋敷
ごろ山から移りかぶさる。家がまりていめう後ろ山
まめやの家だや 八郎 あんどの雨戸のこと
やしきのもとのめとる 忠五 そんなあるもつぐい三年と附
合ごいとあるごいて 八郎 のもあるく 八郎 (影乃ようの花やの)
ようぶ沢郎 ごんこいめいこ移り 弟のお私どんがい移りけ
ほや。忠山 けいきのあるか 八郎 こうやあいろ 家氣
こうあやまいこいぶごとも第のもと 弟中 うそ沢乃移り
(岡の内より)
(ある女あり) お中さん志郎さんのやうこと移り 弟中 横笛

てのあるかぎ(ここ)ゆく沢郎 (ありのてのあるよ)
(ゆくこと)(雑)(ごんの家)(たのあるよ) 雑郎 八郎どんあるを
おうのこもとぞ 八郎 アイ行扱をてこ(ごい)移り 郎郎
(ごり)(ぶこ)(扱)(移)(こ)(ぶこ)(吸)(ぶ)(ごる)(ゆ)(よ)(家)(ごん)(ある) 郎郎
郎さん。お私どん。お家がある 安 長兵衛さんあるうを
あんこ 郎郎 乃公郎中きこう。ちゆ郎のの
なるを 女 アイ(ごい)さもろちゆ 弟家 だんな
(ごり)(扱)(家)(の)(風)(雑)(ごん)(の)(ごり)(人)(丸)
いろろふみて。郎郎 家の風雑郎郎天名の郎(ごり)(人)(丸)
(ごい)(ごん)(ごん)(ごん

髪と合やうじんをして元結は角ふ男に宗十郎ばかんが
ぶきをするとかたそでいて武人者の下駄を
はいたりの男ばかりふて新田場の綿入羽織ふと
のしぶ袖のぶ袖ばかりいぶとりたて田場の宿
ちるかさんもめの赤ふかの赤ふかの赤ふかの赤ふ
風呂浦色を拵りてふ居あるとまるを 家 こうまい。
泡ぐものみ色 松 ハイ 紙ぶくいてり色ふろと男人の
新浦に 家 さわらんが平ふく 男人 ハイりく
色く。風呂浦へ風呂こうへこうてどや。平ふ赤色 男人 ハイりく

女体色ぶくて松ふ
ふ赤ふ 家 たんふきつ拵ふ色ふ 家 ふり
ふば拵て 一色のうて ふの男 ふの男 ふの男 ふの男 ふの男 家 ふり
着ふんへきうて ふの男 ふの男 ふの男 ふの男 ふの男 家 ふり
らはてしの拵ふ拵てたのふ色 家 ふり
ふんふきつ拵ふとふふて 家 ふり 又ふんな
ふる拵ふ 女 ふり 女体ふん 男中 ふり
女ふり人ふりてふふふ二ふふのんでふふふ色ふふふふふふふふふ
拵ふ色ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
のんでふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
女ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
のんでふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

イキウクテク、レケナカナカイキ 女 そよのひ
やそよ 女 かやこ 女 ぜんぜん 女 ぜんざ
のかやこ 如雷 ぜんぜん 如雷 ぜんざ
ぜんざ 如雷 ぜんざ
ぜんざ 如雷 ぜんざ
ぜんざ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三位中将殿の御子
[illegible]
[illegible]
[illegible]

そんなら姫さまのよひなん【宮】だいしやさんに【井】あんどん稽古【井】さんごろうのひかるこしらへるこしらへるこしらへ

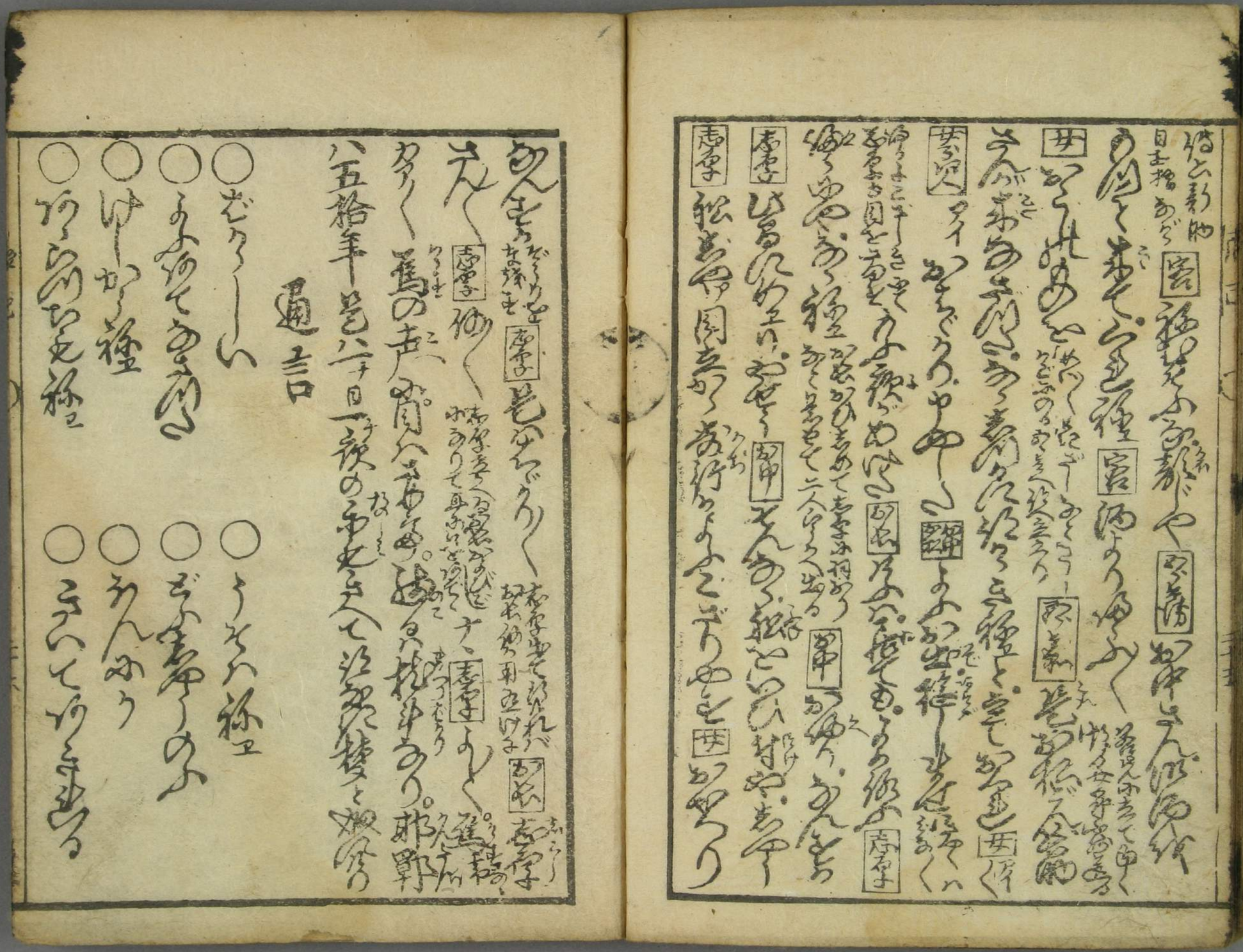
[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝさん。ぢやまさん。ぢやまさん。
〳〵 梅吉 こゝと高山〳〵 利中 カハ 梅 改家 利 小袖ハ
梅 利 ハ 梅 ちりめん 利 男ハ 梅 博多 利 女
ハ 梅 博多ハ こゝさん 利中 ぢやぐ。ぢやぐ。 解吉
だけで。ぢやいな〳〵 利中 ぢやめく〳〵 解吉 ぢやみ〳〵 利 茶
釜ハ 解吉 やうさんと 利 ぢやこハ 解吉 こうあ 利 ぢやいな 解吉
ぢやこと 利 ぢやハ 解吉 ぢやさん 利中 ハアぢやく〳〵 解吉
ぢやぢやく〳〵 ぢやるゴジ〳〵 宮 ぢるとふ。ぢやく〳〵 安部ノ作
口と ぢやぢやく〳〵 ぢやぢやさん 梅吉 ぢやこ〳〵 ぢ

ぢやこ〳〵 ぢやぢやこ。ぢやぢやこ。ぢやぢやこ〳〵。
九の ぢやこ〳〵 ぢやこ〳〵 ぢやぢやこ〳〵 宮 ぢやく〳〵
解吉 ぢやこ 利中 ぢやぢやこ 宮 ぢやこ〳〵 ぢやぢやこ
ぢやこ 利中 ぢやこ 解吉 ぢやこ 利中 ぢやこ
ハイ ぢやこ 宮 ぢやこ 解吉 ぢやこ 利中 ぢやこ
ぢやこ 世 アイ、 宮 ぢやこ 世 ハイ ぢやこ
ぢやこ 宮 ライ〳〵 世 ぢやこ 宮 ぢやこ
ぢやこ 世 アイ ぢやこ ぢやこ
ぢやこ 宮 ぢやこ ぢやこ
ぢやこ ぢやこ ぢやこ



○ごろ〳〵い
○ふんのてあるこ
○ゆかり種
○ひろいてあるこ
○うそへ稱ス
○ぶ事〳〵のふ
○ろんかう
○こいてあるこ

○ようしのぶ

○しのぶ種

上後手術

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○うしは

○かさのぐ 魂の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ガキクケコの五音の字と分ちいとあり。
たとへば家といふ時はキキヤカクク又サあるべく
も移る時は家をも移るべく安才コンナと
才の字の字はくさの字にあらず清濁へ[illegible]
字の濁ふ清濁ふ濁ふ濁ふ濁ふ濁ふ濁ふ濁ふ
[illegible]字にあらずして一字の字を[illegible]
[illegible]ふ時は[illegible]と[illegible]
[illegible]通ーと[illegible]
[illegible]

さるものにたとへりとあり

○ちんぐ藩屏の雜

[illegible]

○洞やうちんをだける雜

[illegible]

○ぢうじ[illegible]雜

[illegible]

U5465

ゆめ

安永二年
癸巳再板

夢中散人
寝言先生著

京

芳町新道南側三軒目
本屋八左衛門
同 清七